

2013（平成 25）年度事業報告書

2013（平成 25）年 4 月 1 日から 2014（平成 26）年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人おきなわCAPセンター

1 事業の成果

おきなわCAPセンターが活動をはじめて 17 年目となる 2013 年度は、法人化 10 周年をひとつの節目として、記念事業「暴力防止大会」を開催。「すべての子どもに安心と生きる力を」をメインテーマに、県内外の子ども支援に携わる参加者と子どもへの暴力のない社会をめざして学び合い、大会決議を共有して子どもへの暴力防止活動に弾みをつけることができた。沖縄県から委託された「児童虐待防止推進事業」では、子ども虐待について深く県民に意識・啓発することができた。ワークショップ提供事業についても、市町村との協働を継続して行うことができ、結びつきを強めた。県内児童養護施設において、年間を通し 3 回ずつ研修会を開き、施設職員の資質向上に努めた。すべての事業を通して、子ども支援に携わる団体や関係機関との連携をさらに深めることができた 1 年となった。

(1) CAPワークショップ（暴力防止プログラム）提供事業

184 回のワークショップ提供

市町村との協働では、3 年目の那覇市（思春期の心と体のための意識啓発事業・56 回）、5 年目となる浦添市（児童虐待防止対策事業・12 回）、2 年目の北中城村（児童虐待防止緊急対応強化事業・16 回）からの委託が順調に継続されている。その他、児童養護施設等資質向上支援事業による沖縄県からの委託も 2 年目となり、各施設との関係性の向上につながっている。各種助成金を活用した、特別支援学校（8 回）、母子支援施設（6 回）でのワークショップでも、職員との活発な意見交換をおこなうことができ連携が図れた。これらを含め、2013 年度は、子どもワークショップ 105 回、大人ワークショップ 79 回、合計 184 回提供することができた。

デートDVの予防・啓発の取り組み

大人へのワークショップ提供事業のうち、那覇市内中学校での大人ワークショップは、デートDV防止の一貫としての取り組みとなり、11 校の保護者や教職員に、子どもへの暴力防止を踏まえて、デートDVに関する知識と理解を深めてもらう機会となった。那覇市中学校 10 校の 1 年生（45 クラス）には、CAP プログラムとともに自分の心と体を大切にするという視点から、デートDVについての情報と相談機関を伝えることができた。また、新たな取り組みとして、思春期の人間関係づくりのヒントを提供するデートDV防止のための「さくらんぼプログラム」を、宜野湾市立嘉数中学校、西原高等学校、那覇市（なは女性センター）で実施。パワーポイントを使って進めるこのプログラムは受講者から、「とてもわかりやすい」と好評だったこともあり、次年度からの展開を期待されている。

児童養護施設へのワークショップ

沖縄県内 8 施設において、昨年度に続いて沖縄県青少年・児童家庭課の「児童養護施設等資質向上支援事業」による職員向け研修を実施した。今年度は、各施設のニーズを重視し、CAP 大人ワークショップとして暴力防止に関する基礎知識の他、5つのプログラムの中からリクエストを受ける形でワークショップを提供。「アサーティブネス」「ジェンダー」「ストレングスカード」など、どれも好評であった。全職員が負担なく受講できるように、午前の部・午後の部や日程を変える等、2 回に分けて開催したことで職種を超えて全ての職員が研修内容を共有できた。全施設終了後には、意見交換会を開催。振り返りを行うことで、さらに各施設と連携を強化することができ、今後の実施内容についても検討することにつながった。

(2) ワorkshop提供のための人材育成事業

SNP養成講座の開催

知的障がいのある子どもへのCAPワークショップを提供する人材を育成するSNP（スペシャルニーズプログラム）養成講座を開催。知的障がいのある子どもの暴力被害を減らすために、子どもの人権や成長・発達に関する正しい知識・情報を習得して、ワークショップを実施できるメンバーが15人誕生した。養成講座開催にあたり、琉球銀行のりゆうぎんゆいまーる助成を活用することで、個人負担を軽減することができ、より多くのメンバーに養成講座を受講してもらうことができた。また、開催後すぐに特別支援学校より依頼がきて、子どもワークショップを実施することができた。人材育成だけに留まらず、実践の場を提供することで受講者の意欲の促進にもつなぐことができたのは大きな成果であった。

研修への派遣・講師の招聘

県外研修として、CAPセンター・JAPANの総会と、「CAP未来プロジェクト100人ワークショップ」に参加。他府県との情報交換、全国的な取り組みの姿勢が確認でき、おきなわCAPセンターの活動紹介をすることもできた。「体罰の問題性と体罰に代わる関わり方」（兵庫県宝塚市）、「性虐待の被害児童へのアプローチを学ぶリフカー研修」（神奈川県横浜市）、「子どもの虐待防止推進全国フォーラム」（大分県別府市）へそれぞれ1人派遣。それぞれが団体の活動に活かせる研修内容で、最新の情報を得ることができ、報告会を実施したことにより、メンバーにも内容を周知、共有することができた。

外部からゲスト講師を招き「虐待の通報と相談」、「LGBTに関する理解を深める研修」を開催。子どもを支援するための専門知識を身につけ、最新の情報を得ることで、それぞれが自信を持って活動を継続することができた。

九州・山口・沖縄CAPのつどい

毎年開催している九州地区のCAPグループの情報交換を兼ねた研修会を沖縄で開催。全国トレーナーをファシリテーターに迎え、CAPの歴史をふり振り返りながら10年後に向け具体的な計画をたてた。他にも、ストレングスカードを用いて、強み発見ワークショップを

おこない交流を図った。また、那覇市社会福祉協議会からのボランティアグループ活動助成で経費を補填して開催することができた。

資格更新のためのトークタイム研修

ワークショップの最後に行われるトークタイムの目的、CAP スペシャリストの役割、CAP スペシャリストに必要な基礎的知識の再確認をおこなった。さらに危機介入のガイドラインの確認、それぞれの段階で CAP スペシャリストの行うべきこと、実習とフィードバックなど、1日をかけて様々な気づきがあり、メンバー同士が互いに学び合う場となった。

リフカー研修への参加

子どもから性虐待について打ち明けられたとき、または性虐待を疑うような言動が子どもに見られたとき、どのような情報をどのように聴けばよいのか。正しいスキルと知識を身につけて、子どもワークショップのトークタイムに活かすために2名が参加。子どもにやさしい聴き方の正しいスキルを身につけ、性虐待を受けた子どもに関する基礎的なカリキュラムが多く含まれており、被虐待児に関する理解を深めた。

(3) 子どもへの暴力防止についての学習・啓発事業

総会記念講演会の実施

2013年総会記念講演として、沖縄タイムス記者の謝花直美氏を講師に「15の春～離島からの進学～」講演会を開催。高校進学のために、親元を離れ本島での生活を余儀なくされる思春期の子どもとその家族の実情を、1年間取材しながら追いつけた謝花氏に話していただき、離島が抱える問題や現状について参加者と共に理解を深めた。

親のためのエンパワメント連続講座

生命保険協会の助成を受けて、南城市と糸満市において、「ワタシへのご褒美サロン」と題して3回連続講座を開催した。CAPのワークショップと整体、カラーセラピスト、アロマセラピー各専門家講座を組み合わせ、子育て真っ最中の母親がリフレッシュする時間を提供。安心して受講してもらうために、無料の託児室を完備。日々の子育てから解放され、自分磨きしながら、子育て仲間と出会うことができ大好評の連続講座になった。どちらの会場においても、後日開催のCAP大人ワークショップにつなげることができた。

知的障がいのある子どもの育ちを支援する

健常者の8倍も暴力の被害にあいやすいと言われる知的障がい者への理解を深め、支援する大人を増やすために、SNP養成講座の前半(1日)部分を一般公開講座として開催。多様な分野の人が参加したことで、情報交換ができ、ネットワークも広げることができた。

暴力防止大会 in 沖縄の開催

沖縄県共同募金会の補助を受け、当団体初めての試みとなる「子どもへの暴力防止大会」を11月の虐待防止月間に開催。「すべての子どもに安心と生きる力を」をメインテーマに、子どもの人権が尊重され、暴力のない社会をつくる目的の中、子ども支援に携わる方や団

体と交流を図りながら、共に学びを深めることができた。テーマ別分科会には、県内外の第一線で活躍している講師を揃えたことで、最新の子ども支援の知識や技術を習得する機会となり、関係機関同士のネットワーク強化にもつながった。大会開催に向けて、実行委員会を結成。大会前と終了後の会議開催の他、大会報告書作成のための編集会議も随時行った。報告書を県内の学校、関係機関に配布したことで、子どもへの暴力防止活動、予防教育の大切さを意識・啓発することができた。

児童虐待防止推進事業（沖縄県との協働事業）

昨年度に続いて沖縄県より委託を受け、平成 25 年度沖縄県児童虐待防止推進事業として離島も含め、8回の講演会を企画、運営。広く県民に児童虐待問題について周知することに努めた。「コドモとオトナが元気になる講演会」と題して2年目、子どもへの虐待や暴力について多くの大人に身近なこととして考えてもらうための取り組みが浸透してきた。

10月には、認定特定非営利活動法人子ども虐待・ネグレクト防止ネットワーク理事長山田不二子氏による「子ども虐待を見逃さないために～性虐待の事例から見る気づきのヒントと対応～」(浦添市)と、育児漫画家高野優氏による「子は育ち、親も育つ、楽しまなくちゃもったいない」(那覇市)の2回開催。12月は特別支援教育ネット代表小栗正幸氏「子どもの心とどう向き合うか」を宮古島市と那覇市にて開催。1月当団体代表理事・精神科医長田清による「思春期の子どもとは、解決志向でうまくいく」(石垣市)、2月児童精神科医杉山登志朗氏「子ども虐待から生じる発達上の障害～その理解と対応～」(那覇市)、全6回すべてが大盛況で、多くの県民が子ども虐待についての理解を深めると同時に、対応の知識とスキルを学んでもらうことができた。沖縄県初開催の専門職向け「リフカー研修」(1月那覇市)では、関係機関の職員が性虐待が疑われる子どもへの面接の仕方を学ぶことができた。また、小栗氏が宮古島市を訪問した際に、市内の児童養護施設にてケース会議を実施。支援の中で実際に苦慮している諸問題について、スーパーバイズをしていたり機会を持ち、多角的な事業展開を行うことができた。

(4) 地域ネットワーク事業

行政とのネットワーク強化

「那覇市要保護児童対策地域協議会代表者会議」「沖縄県要保護児童対策協議会」「沖縄県子ども・子育て会議」「沖縄市こどものまち推進アクションプログラム策定委員会」「沖縄県次世代育成支援対策推進協議会」「那覇市子ども政策審議会」「子ども支援ネットワーク交流学習会」に出席して、子どもを支援する関係機関との連携強化を図った。

児童養護施設等資質向上事業（沖縄県との協働事業）による性教育ワークショップ

沖縄県児童養護施設等資質向上事業の委託を受け、リアライズ YOKOHAMA の橋本明子氏を講師に性教育研修会を全施設（県内8施設）で開催し、事業コーディネイトを担った。現場職員にとってニーズの高いものだったので、大好評を得て、参加者に新たな視点の専門技術と知識を身につけてもらうことができた。性虐待についても具体的な支援方法についてアドバイスが行えたのは、効果的だったと考えられる。

インターンシップ、フィールドワーク等の受け入れ

那覇看護専門学校からインターンを受け入れ、学生たちにCAPの活動内容や子どもへの虐待について説明する他、通信や虐待防止講演会案内文の発送作業や、大人ワークショップや子どもワークショップへ参加してもらうことで、子どもへの暴力防止について丁寧に伝えることができた。その他、ぐしかわ看護専門学校の学生をフィールドワークで受け入れた。看護師になる学生へエンパワメントの考え方、支援の在り方について伝えることで、CAPの理念・知識をより社会に広めることができたのは大きな成果である。

ご入学おめでとう大会への講師派遣

沖縄タイムス社主催の「ご入学おめでとう大会」(全5回)にメンバーを派遣して新1年生とその保護者へ「自分を大切にする」というテーマで話し、入学前の不安な気持ちを和らげるとともに、おきなわCAPセンターの活動を多くの県民へ伝えることができた。

その他、共同募金活動、他団体との連携

その他、赤い羽根共同募金活動、「非行」と向き合う親たちの会講演会の広報協力など、他団体との連携を強め、子育て支援と暴力のない平和な社会をめざす活動を進めることができた。

(5) 会報等の発行事業

通信を2回発行。会員と関係機関へ届ける他、広報活動と新規会員を増やすためにも広く配布した。また、ホームページとブログ、フェイスブックを随時更新しながら、講座や講演会、ワークショップの案内や報告を行うなど情報の発信に努めた。

(6) その他、目的を達成するために必要な事業

理事会、事務局会議の開催。

2 特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施場所	従事者数 (人)	受益者 (人)	支出額 (千円)
子どもへの CAPワーク ショップ (暴力防止 プログラム) 提供事業	小学生ワーク ショップ	33回 金城小学校5年生4、6年生4、北中城小学校3 年生4、6年生4、上田小学校2年生6、伊良波 小学校3年生3、牧港小学校4年生3、当山小学 校4年生5	約 350	1073	6,172
	就学前ワー クショップ	9回 相愛幼稚園、北中城幼稚園4、座安保育所、 泡瀬保育所、読谷南保育所、喜舎場保育所		225	
	中学生ワー クショップ	45回 石田中学校5、真和志中学校3、鏡原中学校5、 石嶺中学校4、上山中学校3、金城中学校6、 仲井真中学校5、寄宮中学校5、那覇中学校6、 松城中学校3(すべて1年生)		1738	
	その他	18回 児童養護施設ならさ3、愛隣園2、母子生活支援 さくら2、沖縄高等特別支援学校3、島尻特別支 援学校3、母子支援施設浦和寮2、大育学童、 ラ・ポール学童、ひだまり学童		215	
	気持ちのワー クショップ	1回 沖縄市男女共同参画センター	5	16	
	デートDV 防止ワーク ショップ	2回 宜野湾市立嘉数中学校1年生、西原高等学校2年 生	4	538	
大人への CAPワー クショップ 提供事業	大人ワーク ショップ (保育所、幼 稚園、学校)	28回 相愛幼稚園、北中城幼稚園、石田中学校、金城小 学校、鏡原中学校、真和志中学校、金城中学校、 那覇中学校、首里中学校、石嶺中学校、牧港小学 校、仲井間中学校、寄宮中学校、浦添小学校、上 山中学校、泡瀬保育所、愛泉保育園2、 大里南小学校、石垣中学校、喜舎場保育所、上田 小学校、松城中学校、北中城小学校、伊良波小学 校、沖縄高等特別支援学校、島尻特別支援学校、 当山小学校	約 250	640	
	教職員ワー クショップ	3回 座安保育所、読谷村保育所合同、沖縄市教職員		60	
	その他 連携機関、大 学、児童養護 施設等	47回 沖縄県里親会2、島添の丘4、袋中園4、漲水学 園4、美さと児童園4、愛隣園4、なごみ4、石嶺 児童園4、ならさ4、子育て支援ほかほか、介護 の会、北部病院2、うるま市児童家庭課2、 就労支援センターちろば、母子生活支援センタ ーさくら、母子生活支援施設浦和寮、名城大学、 中城村学童保育連絡協議会、首里公民館、沖縄市 男女共同参画センター、		801	
	主催ワーク ショップ	1回 10/19 南城市大里中央児童館		13	

	デートDV 防止ワーク ショップ	1回 なは女性センター		24	
	性のワーク ショップ	8回 「性の健康を守る」橋本明子氏 県内児童養護施設8か所（愛隣園、石嶺児童園、 島添の丘、袋中園、なごみ、ならさ、漲水学園、 美さと児童園）	16	175	
	本の販売	適宜 県内	約 250	300	
ワークショ ップ提供の ための人材 育成事業	SNP養成講 座	1回 8/24,25 沖縄県男女共同参画センターにいるる	5	15	977
	九州・山口・ 沖縄CAPの つどい	1回 11/2 なは女性センター	5	26	
	資格更新ト ークタイム研修	1回 11/4 那覇市NPO活動支援センター	2	12	
	リフカー研修	1回 1/27 産業支援センター	2	2	
	内部研修会	9/26 虐待の通報・相談についての内部研修 2/13 LGBTに関する理解を深める研修	2	15	
	研修派遣	県内 10回 5/26 学校って何だろう(沖縄市子ども施策研究所) 7/27 子ども・若者の生きづらさと自己肯定感 8/7 ゲートキーパー養成研修(県立博物館講堂) 9/7 憲法・子どもの権利条約を生かした教育 9/16 九州・沖縄地区子ども支援ネットワーク 12/17 性虐待という視点から考えるシンポジウ ム 1/18,19 ひとり親支援員養成講座 1/26 DV防止フォーラム 3/15 自己肯定感ってなあに？ 3/31 リスク社会を授業する	10	20	
		県外 4回 5/25,26 CAPセンターJAPAN総会(兵庫) CAP未来プロジェクト100人ワークショップ 子ども虐待早期発見の地域拠点強化事業報告会 7/7 リフカー研修(神奈川) 8/17 体罰の問題性とそれに代わる関わり方(宝塚) 11/16 子ども虐待全国フォーラム(別府)	5	80	
	定例会	8回(4,6,7,9,10,12,1,2月) なは女性センター、少林寺浦添道場 他	32	80	
子どもへの 暴力防止に ついての学 習啓発事業	公開講座・講 演会	5回 5/18 総会講演 15の春～離島からの進学～ 6/8,15,22 南城市子育てサロン連続講座 7/12,13,14 糸満市子育てサロン連続講座 8/24 知的障がいのある子どもの育ちを支援する 11/3 すべての子どもに安心と生きる力を(暴力 防止大会 in 沖縄) ・大会実行委員会5回、報告書編集会議3回	70	315	8,542

	沖縄県虐待防止事業講演会	8回 10/8「子ども虐待を見逃さないために」山田不二子氏 10/26「子は育ち、親も育つ」高野優氏 12/15「子どもの心とどう向き合うか（宮古島）」小栗正幸氏 12/16 漲水学園ケース会議（小栗正幸氏） 12/17「子どもの心とどう向き合うか（那覇市）」小栗正幸氏 1/19「思春期の子どもとは解決志向でうまくいく」長田清氏 1/27 リフカー研修会 ChildFirst Japan 2/2「子ども虐待から生じる発達上の障害」杉山登志朗氏	70	1583	
地域ネットワーク事業	地域ネットワーク会議	11回 4/24 ・なは女性センター連絡者会議 6/11 ・沖縄県要保護児童対策協議会会議 7/19 ・沖縄市子どもの町推進事業策定委員会 7/23 ・那覇市子ども政策審議会 7/31 ・ていりる関係者会議 8/10 ・那覇市子ども政策審議会・児童館部会 8/12 ・沖縄県次世代育成支援対策推進協議会 9/2 ・那覇市子ども政策審議会・児童館部会 9/16 ・子ども支援ネットワーク準備会 9/30 ・那覇市子ども政策審議会・児童館部会 10/16 ・那覇市子ども政策審議会 10/26 ・子ども支援ネットワーク準備会 12/7 ・子ども支援ネットワーク交流学習会 12/18 ・すこやか親子 3/8 ・CAPいしがきとの情報交換会 3/10 ・沖縄県子ども子育て会議	11		955
	沖縄県児童養護施設等資質向上事業	8回 9月「性の健康を守る」講師：橋本明子氏 県内児童養護施設8か所（愛隣園、石嶺、島添の丘、袋中園、なごみ、ならさ、漲水、美さと）	16	193	
	インターン等受け入れ	5回 ・那覇看護専門学校 6回 12日間 ・ぐしかわ看護専門学校フィールドワーク 2日間	15	36	
	その他	11回 6/16 沖縄市子ども施策研究会勉強会「体罰・いじめ」講師 7/8 うるま市高江洲小学校講話 7/16 那覇国際高等学校ジェンダー授業 10/11 愛隣園60周年座談会 2/1 さんぽの会（親の会）講演会広報協力 2014 沖縄タイムス社主催ご入学おめでとう大会（2/2 恩納村、2/9 宜野湾市、2/15, 16 那覇市 全5回） 3/7 那覇看護専門学校卒業式来賓出席	20	約5000	
会報等の発行事業	会報の発行 ホームページ	年2回 随時 事務所	12	600	256
その他、目的を達成するために必要な事業	事務局活動	総会 1回（5/18） 臨時総会 1回（9/21） 理事会 4回（4/24,6/19,9/21,1/22） 事務局会議 年36回 労務・会計など	200	約20	258